

令和元年度  
(平成30年度対象)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

印西市教育委員会

# 目 次

1	点検評価について	1 頁
	(1) 趣旨	2 頁
	(2) 点検評価の対象	2 頁
	(3) 点検評価の方法	2 頁
	(4) 点検評価の構成	3 頁
2	印西市の教育施策	4 頁
	(1) 教育施策の基本理念	5 頁
	(2) 主な施策	6 頁
	(3) 教育施策の体系	8 頁
	(4) リーディング施策	9 頁
3	点検評価結果	11 頁
	(1) 点検評価結果目次	12 頁
4	評価のまとめ	33 頁
	(1) 評価内訳	34 頁
	(2) 施策別評価	36 頁
	(3) 学識経験者の知見の活用	36 頁

# 1 点検評価について

### (1) 趣旨

市教育委員会では、平成17年度から教育施策の基調を「健やかな心と体を育む教育」と定め、この基調による目標のもと、事業の実施に努めているところですが、平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、「教育委員会は、毎年その教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表すること」となりました。昨年度は、平成29年度「印西市の教育施策」について「点検・評価」を実施し、各分野の学識経験者の皆様よりご意見をいただき、報告書を取りまとめ、公表しました。この「内部点検評価」の作業及びいただいたご意見を参考にすることで、平成30年度中に施策の進捗状況を再確認し、効果的な施策の展開に寄与することができたと考えております。

今年度も平成30年度の「印西市の教育施策」について「点検・評価」を実施し、報告書に取りまとめました。これを公表し、市民のみなさまからご意見をいただき、よりよい教育の実現に向けて、取り組みを進めてまいりたいと考えています。

### (2) 点検評価の対象

点検評価の対象は、平成30年度版印西市の教育施策（以下「教育施策」という。）における事業の実施内容について、点検を行い、印西市教育委員会としての自己評価を報告書としてまとめました。

### (3) 点検評価の方法

点検評価の方法は、教育施策中の「主な事業」毎に、平成30年度に実施した実施内容及び実績を明らかにするとともに、それに基づいた施策の内部評価を客観的に行い、課題を分析し、今後の事業に活かすものとします。

なお、法律に明記されている「学識経験を有する者の知見の活用」については、学校教育、生涯学習、スポーツ振興それぞれの分野の学識経験者の皆様（大学教授、元市社会教育指導員、市スポーツ協会役員）に、御意見をいただきました。

#### （点検評価の流れ）

○事業点検…主な事業毎の事業内容点検（点検者：担当課長）



○施策評価…主な事業評価（評価者：教育長、部長。学識経験者知見活用）



○総合評価…教育委員会会議における最終評価（評価者：教育委員）

#### (4) 点検評価結果の構成

教育施策中の「主な施策」毎の「主な事業」における「事業内容」を平成30年度に実施すべき事業目標と位置付け、この実施状況について点検を行い、「主な事業」毎に内部評価しています。

表の項目について

○事業……「主な事業」毎に掲げている事業です。

○事業内容（平成30年度目標）……事業の具体的内容です。教育施策は、当該年度の事業計画書であり、教育施策中の主な事業における「事業内容」は、実施すべき具体的事業内容であることから、平成30年度目標と位置付けています。

○平成30年度実績……平成30年度目標に対し、実際に実施した事業の内容、回数などを具体的に記載しています。

○施策評価……「主な事業」毎に、事業の進捗を点検し、印西市教育委員会が内部評価しました。評価指標は「S、A、B、C」の四段階評価とし、以下の内容を基準としています。

S 事業の目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。

A 事業の目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。

B 目標の一部が達成できなかった。

C 未達成事業が多く、施策の進捗がほとんど認められない。

○評価理由……「S、A、B、C」の評価を行った理由を示しています。

○今後の課題……重点施策の実現に向けて、今後の方向性を示しています。

《参 考》地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

〔昭和31年6月30日法律第162号〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第26条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 印西市の教育施策

# 印西市基本構想

## 将来都市像

ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい

## 将来の都市像実現のため6つの柱

- 1 恵まれた自然の中でやすらぎを持って生活できるまちをつくる《生活環境》
- 2 やさしさを持っていきいきと暮らせるまちをつくる《健康福祉》
- 3 地域の持つ可能性を活かした魅力あるまちをつくる《産業振興》
- 4 健やかな心と体を育み未来を拓くまちをつくる《教育・文化》
- 5 快適で暮らしやすい都市機能の充実した美しいまちをつくる《都市基盤》
- 6 市民と行政がともに歩み健全で自立したまちをつくる《住民自治・協働・行財政》

## 印西市教育大綱

## 印西市教育振興基本計画

## 教育施策

教育の基本理念 【だれもが輝き ともにばたく いんざいの学び】

## 主な施策

### I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

- 1 学ぶ力，豊かな心，健やかな体を育む教育の推進
- 2 安全で安心できる教育環境づくり

### II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

〔生涯学習・生涯スポーツ〕

- 1 年齢にとらわれずいきいきと暮らすための生涯学習活動
- 2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり
- 3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実

### III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

- 1 創造性を育む文化・芸術活動の推進・継承
- 2 文化財の保護・活用
- 3 市史編さん事業の推進

## I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

これからの教育には、変化の激しい社会を担う子どもたちに、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の3本を柱とする「生きる力」をつけることが求められている。

その中でも本市は、特に健やかな心と体を育む教育を基調とし、道徳教育の充実や豊かな体験活動、情報教育やICT活用の推進、文化芸術体験事業や読書活動の推進、教科体育の充実、運動部活動の推進や小学校駅伝競走大会、食育や生活習慣づくりなどを通して健やかな心と体の育成に向けて取り組んでいく。

さらに、教職員の専門性と指導力の向上を図り、子どもの学ぶ意欲の向上に努め、生涯学習の基礎づくりをめざす。

## II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する〔生涯学習・生涯スポーツ〕

生きがいを持ち、心豊かで充実した生活を送れるよう、生涯にわたって学習できることが重要となっている。さらに、国際化・情報化等の進展に伴う、価値観の多様化と社会の急速な変化に対応するため、情報を見極め、個人の適性に応じた知識や技術を習得し、活用していく必要性が高まっている。

こうした市民の多様な学習ニーズと現代的課題に適切に対応するため、多様な生涯学習情報と公民館・図書館等の学習活動の場を提供することにより、学習機会の拡充を図り、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたってさまざまな分野で自ら学ぶことのできる学習環境をつくり、市民の生涯学習活動を推進する。

また、公民館や図書館等の生涯学習・社会教育施設の維持・管理や指導者の確保、高等教育機関等との連携・協力を図り、生涯学習推進体制を充実する。

さらに、親と子の絆を強めて、子どもの生きる力の基礎となる家庭教育を充実させるとともに、子ども達が安全・安心で健やかに成長できるように、地域で行われる青少年健全育成活動を推進し、地域で活動する市民団体を支援する。

スポーツ・レクリエーション活動は、市民の「こころ」と「からだ」の健全な発展をうながし、明るく豊かで活力に満ちた生きがいある社会の形成に寄与するものである。しかし、社会背景の変化に伴い、運動不足や体力の低下が問題となっている。

このような状況の中で、当市においても高齢化の進展、余暇時間の増大、そしてライフスタイルの個性化・多様化などにより、スポーツに対する関心が高まり、気軽にスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の拡充が強く求められている。

このことから、市民が心身ともにたくましく健康で明るい生活が送れるよう、生涯にわたってそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会の拡充を一層推進する。

### Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る

#### 〔文化芸術〕

私たちを取り巻く社会環境の大きな変化に伴い、多様なライフスタイルが追求され、暮らしに生きがいやゆとり、潤いをもたらす文化的価値が重視されてきている。

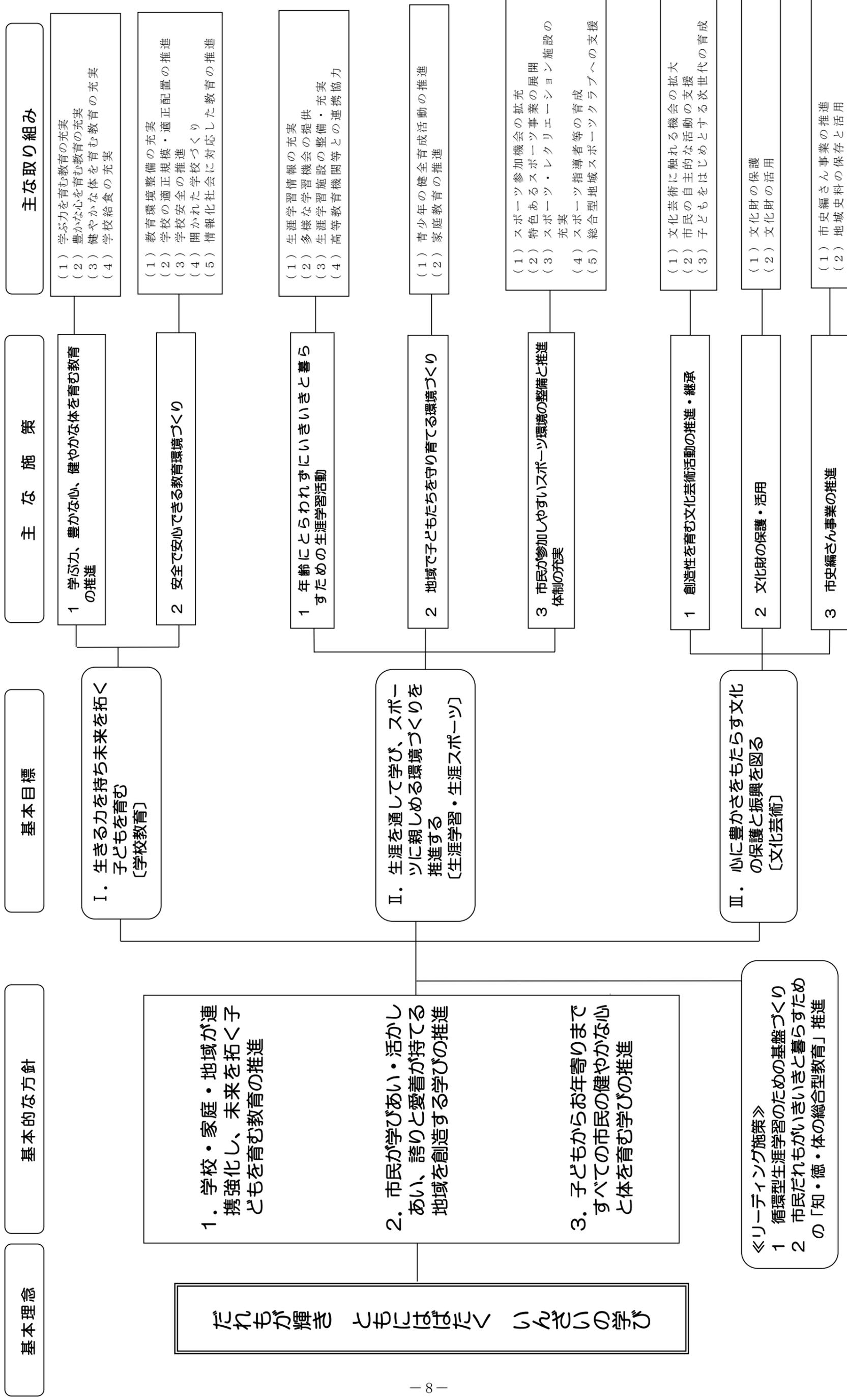
こうした中で、市民一人一人がゆとりある充実した生活をおくるためには、文化に親しみ、自ら文化創造の担い手となることを基本として、魅力に富んだ地域文化の形成が求められている。

また、文化は古くからその地域の自然・歴史・伝統と共存しながら、そこに住む人々の長い生活の営みによって生まれ、独自のものを形成してきた。ところが、昨今の急激な都市化の進展に伴い、社会構造や生活環境が大きく変貌する中で、傳承されてきた生活技術や習慣の多くが忘れ去られようとしている。

このことから、市民の自主的で創造的な文化芸術活動の推進や市民の文化芸術に対する関心を高めるため学習機会や学習情報の提供などを積極的に行い、ゆとりと潤いのある文化芸術活動の盛んなまちづくりを展開する。

さらに、市民の心のよりどころとなる文化遺産を保護し、次の世代に継承するため、積極的に調査研究するとともに、その保存・活用に努め、伝統文化の振興を図る。

# 印西市の教育施策の体系



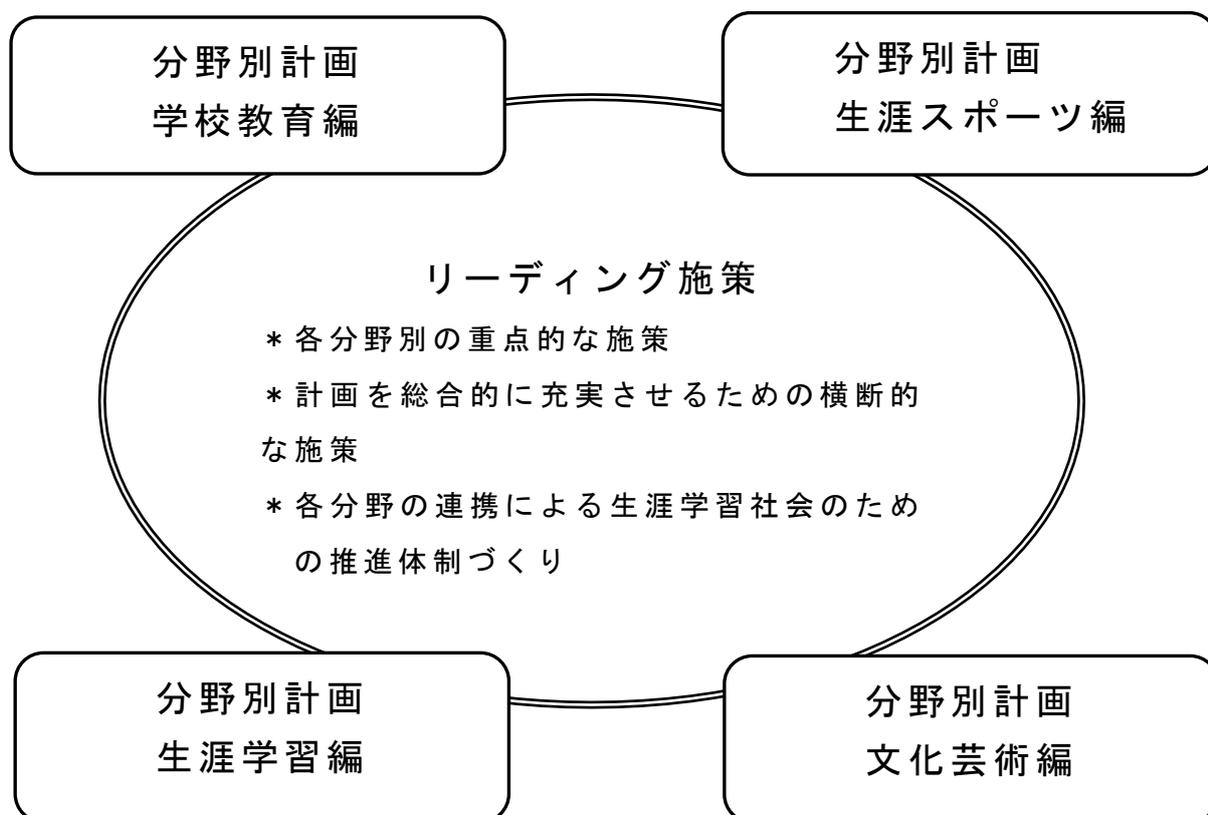
## リーディング施策の位置づけ

リーディング施策は、基本理念や基本方針を実現するために、印西市教育振興基本計画（平成30年度～平成33年度）全体を先導していく施策や横断的に関連する施策を連携させることで相乗効果を発揮することを目的として位置付けます。

そのため、「たくましく生きる子どもたちを育成する学校教育」や「すべての市民の学習環境を充実させ、それらの学習や活動成果を活かして互いが地域社会に参画する本市独自の生涯学習社会の構築」を目指すことが、重点課題となります。

そこで、教育振興基本計画のリーディング施策は、学校教育、生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術分野の充実を横断的に推進するとともに、学習成果や人材を活かす体制等を設定します。

〔リーディング施策の位置づけのイメージ〕



## リーディング施策(平成30年度～33年度)

<b>リーディング施策 1 循環型生涯学習のための基盤づくり</b>	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>① さわやかコミュニティ地域推進会議などを活用し、学校との連携を推進します。</li> <li>② アカデミーや出前講座などにより、人材の発掘に努めます。</li> <li>③ 地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動や人材の情報共有や交流を進めます。</li> <li>④ 学校教育において必要な活動を学校と地域・家庭が連携・協力する仕組みを構築し、学校との連携を強化し、人づくり・地域づくりを推進します。</li> </ul>
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実</li> <li>○ 市民アカデミー                      ○ 生涯学習まちづくり出前講座</li> <li>○ 放課後子ども教室                  ○ 公民館・地域交流館主催事業</li> </ul>
<b>リーディング施策 2 市民だれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」推進</b>	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を通じて、子どもから高齢者まですべての市民のスポーツや健康に対する関心を高めます。</li> <li>② 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会キャンプ地誘致を通じて、海外チームと市民や学生とのスポーツ、文化などの交流を推進します。</li> <li>③ 子どもの頃から文化芸術に親しむ機会を増やすことや地域に根差した文化芸術活動を充実させ、学校教育や生涯学習と連携しながら、「知」「徳」のライフステージに合わせた学びを充実させます</li> <li>④ 大学等と連携して、「知」「徳」「体」の連携方策を検討し、「総合型プログラム」を作成する体制を検討します。</li> <li>⑤ 子どもの「総合型プログラム」を、将来的には関係各課と連携をとりながら、乳幼児の時期から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな体と心を育む学びを推進することを検討します。</li> </ul>
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合型プログラム作成事業</li> <li>○ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に関連するスポーツ・文化・芸術イベントの推進</li> <li>○ 家庭教育学級の充実                  ○ 文化芸術事業の充実                  ○ 地域文化活動の支援</li> </ul>

### 《リーディング施策アクションプラン》

[平成30年度 主な取り組み]

\* 地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動を支援するとともに、人材の情報共有や交流を進めます。

\* 生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術活動の各分野の交流を進めます。

### 3 点検評価結果

# 点検評価結果 目次

## I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

### 1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実	13頁
(2) 豊かな心を育む教育の充実	16頁
(3) 健やかな体を育む教育の充実	17頁
(4) 学校給食の充実	18頁

### 2 安全で安心できる教育環境づくり

(1) 教育環境整備の充実	19頁
(2) 学校の適正規模・適正配置の推進	20頁
(3) 学校安全の推進	20頁
(4) 開かれた学校づくり	21頁
(5) 情報化社会に対応した教育の推進	21頁

## II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

### 〔生涯学習・生涯スポーツ〕

### 1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(1) 生涯学習情報の充実	23頁
(2) 多様な学習機会の提供	23頁
(3) 生涯学習環境の整備・充実	24頁
(4) 高等教育機関等との連携協力	24頁

### 2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(1) 青少年の健全育成活動の推進	25頁
(2) 家庭教育の推進	25頁

### 3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実

(1) スポーツ参加機会の拡大	26頁
(2) 特色あるスポーツ事業の展開	26頁
(3) スポーツ・レクリエーション施設の充実	26頁
(4) スポーツ指導者等の育成	27頁
(5) 総合型地域スポーツクラブへの支援	27頁

## III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

### 1 創造性を育む文化芸術活動の推進・継承

(1) 文化芸術に触れる機会の拡大	28頁
(2) 市民の自主的な活動の支援	28頁
(3) 子どもをはじめとする次世代の育成	28頁

### 2 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保護	29頁
(2) 文化財の活用	29頁

### 3 市史編さん事業の推進

(1) 市史編さん事業の推進	30頁
(2) 地域史料の保存と活用	30頁

### ◇ リーディング施策

○生涯学習，生涯スポーツ，文化芸術活動の各分野の交流を進めます。	31頁
	32頁

# I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

## 1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

### (1) 学ぶ力を育む教育の充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①個性や能力を伸ばす教育の推進 (7) 個性や能力を伸ばす教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級経営相談支援の実施</li> <li>○漢字級別認定テスト「印西漢字マスター」の実施</li> <li>○計算力認定テスト「Inzai Legend of Math」の実施</li> <li>○社会科ワークテストの活用</li> <li>○生徒指導の機能を重視した「わかる授業」展開の推進</li> <li>○基礎学力向上のための取組の推進</li> <li>○個に応じた指導方法の工夫・改善及び指導体制の充実</li> <li>○ICTを活用した授業づくりの推進と支援</li> <li>○学力向上プロジェクトの実施</li> <li>○学校支援ボランティア・学生ボランティアの活用 (順天堂大学、秀明大学、日本医科大学看護専門学校との連携)</li> <li>○教職インターンシップ「あすなる先生」の派遣 (秀明大学との連携)</li> <li>○デジタル教材の効果的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要請に応じて学校を訪問し、基本的な授業技術の向上や適切な学級事務の進め方等について助言・支援した。</li> <li>○3回実施し、各回とも約3,200名の児童生徒が受検した。また、5名の運営委員により練習問題の改訂や中学校版の検討を行った。</li> <li>○3回実施し、各回とも約3,100名の児童が受検した。</li> <li>○社会科副読本「わたしたちの印西市（小学3・4年生版）」に準拠したワークテストを編集し、活用を推奨した。</li> <li>○要請に応じて学校を訪問し、授業研修会等で助言・支援した。</li> <li>○各校でドリルタイム設定等の工夫をし、計算・漢字等の基礎学力の向上を図った。</li> <li>○各種研修会において教職員の資質向上を図るとともに、学習指導員等の配置やボランティアの活用を行った。</li> <li>○既存の電子黒板やPC、書画カメラやタブレットPC等を利用した授業を実施した。</li> <li>○全教職員が学習指導案を作成した授業研究を行い、指導力の向上を図った。また、要請に応じて指導主事を派遣し、指導・助言を行った。</li> <li>○各学校合計約640名のボランティアの協力を得て、学習支援の充実と環境整備等の推進を図った。</li> <li>○24名の学生を8小学校及び4中学校に派遣し、学生の教職インターンシップを支援した。</li> <li>○タブレット端末を利用し、授業での話し合い活動、調べ学習及び映像資料作成等に活用した。</li> </ul>
②確かな学力を育むための研修の充実 (7) 教職員研修（主任・層別等）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教頭研修会の開催</li> <li>○教務主任研修会の開催</li> <li>○学年主任等研修会の開催</li> <li>○生徒指導担当者研修会の開催</li> <li>○情報教育研修会の開催</li> <li>○国際理解教育担当者研修会の開催</li> <li>○学校図書館担当者研修会の開催</li> <li>○体育主任研修会の開催</li> <li>○安全主任研修会の開催</li> <li>○養護教諭研修会の開催</li> <li>○特別支援教育コーディネーター研修会の開催</li> <li>○教育相談研修会の開催</li> <li>○道徳教育授業実践研修会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校の教頭を対象に、2回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の教務主任を対象に、7回の研修会を実施した。</li> <li>○対象を学年主任に限定せず、小中学校の希望する中堅教職員を対象に、1回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の生徒指導担当者を対象に、3回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の情報教育担当者を対象に、1回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の国際理解教育担当者を対象に、2回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の学校図書館担当者を対象に、1回の研修会を実施した。また、図書システム研修会を2回実施した。</li> <li>○小学校体育主任を対象に1回、中学校保健体育科主任を対象に1回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の安全主任を対象に、1回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の養護教諭を対象に、5回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の特別支援教育コーディネーターを対象に、1回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校の希望する教職員を対象に、4回の研修会を実施した。</li> <li>○小中学校から推薦された教職員を対象に、3回の研修会を実施した。</li> </ul>

	○若年層研修会の開催	○小中学校の若年層教職員を対象に、1回の研修会を実施した。
(f) 指導法等の研修の充実	○全教科教材研究等に関する研修会の開催	○小中学校の希望する教職員を対象に、9回（6教科及び道徳、外国語活動）の研修会を実施した。
	○学習指導法等に関する研修会の開催	○小中学校の希望する教職員を対象に、教育センターが主催する各種研修会で実施した。
	○実技研修会の開催	○小中学校の希望する教職員を対象に、3回の研修会（理科、体育、ICT）を実施した。
	○ICT実技研修会及びICT活用研修会の開催	○小中学校の教職員を対象に、5回の研修会（情報教育、ICT活用等）を層別を実施した。
	○特別支援教育研修会の開催	○小中学校の特別支援教育担当者及び希望する教職員を対象に、2回の研修会を実施した。また、学習指導員及び介助員等を対象に、2回の研修会を実施した。
	○人権教育研修会の開催	○小中学校の人権教育担当者を対象に、1回の研修会を実施した。
	○授業相談支援の実施	○小中学校の要請に応じて、指導主事等が授業づくり、学級経営、校内研究及び研究発表等に関する指導・助言を行った。
	○各種出前授業の開催	○小中学校の要請に応じて、児童生徒・保護者を対象に、指導主事等によるSNSネットリテラシー出前授業を8回実施した。
(g) 校内研修の支援	○授業研修での指導・助言	○各小中学校に指導主事等を157回派遣し、指導・助言を行った。
	○評価についての研修の支援	○指導主事を派遣し、思考力・判断力・表現力の育成を中心に指導・助言を行った。
③教育課題への指導・支援の充実		
(7) 教育課題の調査・研究・開発	○基礎学力調査と活用	○小中学校の要請に応じて、指導主事等が評価規準や評価方法についての指導・助言を行った。
	○教育に関する調査・研究・開発	○全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査の結果について調査し、考察を加えて各校に指導法改善の周知を図った。
	○研究校等、特色ある教育活動への支援	○外国語、道徳、オリンピック・パラリンピック教育、食育など、特色ある教育活動を行う11小学校及び3中学校への支援を行った。
	○教材の研究開発	○教育センターにおいて、社会科副読本や漢字・計算コンテンツ、SNS等対応ネットリテラシー教材等を改訂した。
	○教科指導法の指導・支援	○小中学校の要請に応じて、指導主事等が教科指導に関する指導・助言を行った。
(h) 教育研究団体支援事業	○教職員による自主講座の開催	○要請に応じて、指導主事等を研修会に派遣し、指導・助言を行った。
	○市教育研究会の運営支援	○要請に応じて、指導主事等を派遣し、運営支援を行った。
	○市教育研究会への指導・助言	○要請に応じて、指導主事等を研修会に7回派遣し、指導・助言を行った。
	○各研究団体の活動支援	○要請に応じて、指導主事等を派遣し、活動支援を行った。
④幼児教育の充実		
(7) 情報提供と学習機会の充実（幼稚園）	○幼児教育に関する様々な情報の提供	○幼稚園、保育園、小・中・高等学校の教諭によるネットワーク部会を開催し、情報の共有・連携を図った。また、保護者会や園だより等を通じ、園児の様子や幼児教育に係る情報を積極的に提供した。
	○園外研修等への積極的な参加	○県主催の研修会へ参加し、他市町園教職員との情報交換を行った。
	○組織的・計画的な園内研修の推進	○年間計画に基づき、非常勤職員等も含めた園内研修を実施した。
	○保護者会や地域懇談会の開催	○年間計画に基づき、保護者会及び地域懇談会を実施した。

(イ) 幼稚園・小学校・中学校の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場見学や体験を通しての交流</li> <li>○諸行事を通じての交流</li> <li>○情報交換会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の職場見学学習や中学校の職場体験学習を通して交流を図った。</li> <li>○学習発表会や合唱会、生活科授業等を通して交流を図った。</li> <li>○各種連絡会を通して情報交換を行った。</li> </ul>
(ウ) 個に応じた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども発達センター、健康増進課等との連携</li> <li>○介助や指導補助のための非常勤職員の配置</li> <li>○相談支援ファイル（コスモスファイル）を活用した早期就学相談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係課の職員と連携し、全小中学校への巡回訪問を2回行い、児童生徒の指導・支援に関して情報共有を図った。</li> <li>○2幼稚園に補助教員6名、支援員6名を配置した。</li> <li>○コスモスファイルを活用し、6月の就学相談会及び年間を通じた個別の就学相談を実施した。</li> </ul>
⑤読書活動の推進		
(ア) 学校図書館の資料の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校間貸し出しの充実</li> <li>○学校図書システムの活用による学校間貸し出しの推進</li> <li>○計画的な図書資料の選定と購入</li> <li>○蔵書点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館担当職員を学校司書が補佐し、貸し出しの充実に努めた。</li> <li>○図書システムを活用し、18の小中学校間で合計213冊の貸し出しを行った。</li> <li>○文部科学省が示す学校図書館図書標準に基づき、児童生徒への指導に適した蔵書の選定及び購入を行った。</li> <li>○8中学校で実施した。</li> </ul>
(イ) 市立図書館との連携事業の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館担当者会議、学校司書連絡会での情報交換</li> <li>○市立図書館からの団体貸し出しの利用促進</li> <li>○スクール便貸し出し事業</li> <li>○図書館司書研修会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館担当者を対象とした研修会を1回、学校司書を対象とした連絡会を11回実施した。</li> <li>○小中学校の要望に応じて、市立図書館から学校へ、120回の団体貸し出しを行った。</li> <li>○市立図書館からスクール便として、19小学校及び6中学校に年3回ずつ、書籍のセット貸し出しを行った。</li> <li>○市立図書館司書及び学校図書館担当者、学校司書を対象に、1回の研修会を実施した。</li> </ul>
(ウ) 学校図書館の環境整備と機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校司書の適切な配置</li> <li>○学校司書連絡会の定期的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全小中学校に学校司書12名を配置した。</li> <li>○学校司書を対象に、11回の連絡会を実施した。</li> </ul>
⑥国際理解教育の推進		
(ア) 国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語指導助手（ALT）及び日本人英語教育コーディネーターの活用</li> <li>○日本語指導員の派遣</li> <li>○小学校中学年の外国語活動及び高学年の外国語科の充実</li> <li>○小学校低学年における国際理解教育の推進</li> <li>○小学生対象の英語研修会（イングリッシュ・トレセン）の実施</li> <li>○中学生海外派遣研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTは各中学校区に9名、4小学校に2名を、英語教育コーディネーターは10小学校に5名を配置し、コミュニケーション能力の育成及び小学校英語の教科化に向けた実践力の向上を図った。</li> <li>○外国人児童の学校生活支援のため、日本語指導員1名を1小学校に派遣した。</li> <li>○全ての小学校において、3・4年生は年間35時間、5・6年生は年間70時間の外国語活動を実施した。</li> <li>○すべての小学校において、年間8時間程度のALTを活用した授業を実施した。</li> <li>○ALTを活用し、夏季休業中に小学校3・4年生対象で半日を2回、5・6年生対象で1日の研修会を実施した。</li> <li>○8月に6泊7日の日程で、市内在住中学生20名をメルボルン市に派遣し、現地校での交流やホームステイを通して、オーストラリアの歴史や文化に触れた。</li> </ul>
⑦特別支援教育の推進		
(ア) 特別支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別指導計画の作成と活用</li> <li>○学習指導員の配置</li> <li>○介助員の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の発達段階、能力及び特性等に即した計画を作成し、具体的な指導・支援に活用した。</li> <li>○18小学校及び8中学校に40名の学習指導員を配置した。</li> <li>○15小学校及び6中学校に43名の介助員を配置した。</li> </ul>

	○校内支援体制の充実	○児童生徒の教育的ニーズに応じて、支援学級・通常学級間の交流学習を行うとともに、校内では組織的対応を図った。
	○家庭、医療、関係機関等との連携	○児童生徒個々の教育的ニーズに合わせて対応できるよう、必要に応じて指導・支援の方法に関する情報共有及び連絡調整を図った。
	○適応指導教室との連携	○児童生徒個々の教育的ニーズに合わせて対応できるよう、必要に応じて指導・支援の方法に関する情報共有及び連絡調整を図った。
	○研修会の開催	○小中学校の特別支援教育担当者及び希望する教職員を対象に、2回の研修会を実施した。また、学習指導員及び介助員等を対象に、2回の研修会を実施した。
(イ) 就学指導の推進	○就学指導委員会の開催	○10名の委員により、3回の委員会を実施した。
	○早期就学相談の実施	○6月に就学相談会を実施するとともに、年間を通して個別の就学相談を実施した。
	○関係課（障がい福祉課・健康増進課・保育課・子育て支援課・指導課）担当者会議の実施	○10回の5課担当者会議及び2回のネットワーク部会を実施し、支援体制の整備を図った。
⑧キャリア教育の推進	○中学校職場体験学習（印西市生き生き体験）の実施と小学校職場見学学習の支援	○市内165事業所の協力のもと、全中学校で職場体験学習を実施した。小学校において、一部の事業所での職場見学の支援を行った。
	○地域の企業、職業人との連携	○小中学校において、民間事業所の方や職業人を講師に招き、講話会等を実施した。

施策評価	A
評価理由	8項目の事業が概ね計画どおりに実施されているため
今後の課題	学校における働き方改革の推進に向け、教職員の資質の向上に資する効果的・効率的な研修の体系的な整備。

## (2) 豊かな心を育む教育の充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①情操教育の充実		
(7) 道徳教育の充実	○道徳教育全体計画の改善と校内推進体制の充実 ○道徳教育授業実践研修会の開催	○各校の道徳教育推進教師を中心に計画の見直しや指導の実践を図った。 ○小中学校から推薦された教職員を対象に、3回の研修会を実施した。
(イ) 人権教育の推進	○人権教育全体計画の改善と心を育てる教育の充実 ○人権教育研修の実施 ○いじめに関するアンケートの定期的な実施 ○家庭・地域や関係機関との連携による人権意識の啓発	○国や県の動向を踏まえた各校の取組について指導・助言を行った。 ○全小中学校で人権教育に関する校内研修を実施するとともに、教育センターの夏季研修会で人権教育研修会を実施した。 ○全小中学校で定期的なアンケート及び事後の教育相談を実施し、いじめの未然防止、早期発見、事態解決を図った。 ○学校からの便り及び学校ホームページ等を通じて、学校の取組について情報発信した。
(ウ) 芸術文化体験事業の充実	○さわやかハートフルコンサートの開催 ○小学校芸術鑑賞教室の開催	○小学校5年生及び中学校代表生徒を対象に、日頃の音楽練習の成果を発表し合う場としてコンサートを開催した。 ○小学校6年生全員を対象に、古典芸能（狂言・落語）の鑑賞教室を開催した。児童数増加から事業を見直していく必要がある。
②体験活動の推進		
(7) 体験活動の充実	○奉仕等体験活動の実施 ○自然科学体験学習の実施	○各校では年間計画に基づき、学校や地域の美化活動を実施した。 ○各校では年間計画に基づき、児童生徒や地域の実態に応じた自然体験学習を実施した。

③郷土愛を育む教育の推進	○みどりの少年団活動の推進	○全小中学校で緑化活動に取り組んだ。千葉県みどりの少年団交流集会には2小学校が参加した。
	○親子体験学習の実施	○児童生徒・保護者を対象に、里山観察会（2回）及び星空観察会を実施し、計145名が参加した。また、児童生徒・保護者を対象に、産学官連携科学講座、わら細工体験教室及び科学実験講座を実施し、計123名が参加した。
(7) 郷土愛を育む教育の推進	○各小・中学校に設置している「歴史資料室」の内容の充実	○掲示物及び展示物等の見直しや更新を行い、内容の充実に努めた。
	○地域の伝統芸能の体験	○年間計画に基づき、小学校2校で6回の和太鼓演奏を体験した。
④きめ細やかな教育支援の推進		
(7) 適応指導教室事業の推進	○適応指導教室の充実	○中学生24名、小学生8名の計32名が通室し、改善が見られた児童生徒は26名であった。
	○適応指導教室連絡会の実施	○月1回の保護者会「あったまる会」を設け、毎回1～3名程度の保護者が参加し、情報交換を図った。
(4) 教育相談の充実	○面接相談・電話相談の充実	○面談件数は152件、電話相談件数60件のうち、子ども相談室の利用は9件であった。
	○不登校児童生徒等の相談の充実	○定期的にケース会議を実施したり、訪問相談担当教員やスクールソーシャルワーカー等との連携を図ったりした。
	○関係機関との連携	○学校だけではなく、市の相談機関との連携を図った。
	○訪問指導の充実	○訪問相談担当教員やスクールソーシャルワーカーを活用し、相談の充実を図った。
	○スクールカウンセラー等の活用	○9中学校、3小学校に配置されたスクールカウンセラーが、児童生徒及び保護者の相談に関わった。
	○学校諸問題に対する助言・指導	○2名の学校問題対策指導員が、学校の諸問題に対して、広い視野から総合的に立って指導・助言を行った。

施策評価	A
評価理由	4項目の事業が概ね計画どおりに実施されているため。
今後の課題	不登校児童生徒の学校復帰へ向けた学校、医療、関係機関等とのより一層の連携。

### (3) 健やかな体を育む教育の充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①学校体育の充実		
(7) 学校体育の充実	○体育主任会議、体育科研修会の開催	○会議を小学校2回、実技研修会を1回、理論研修会を小中学校1回ずつ実施した。
	○小学校駅伝競走大会の開催	○全小学校の男子36チーム、女子35チームの参加により実施した。
	○中学校武道学習における外部指導者の活用	○県事業の特別非常勤講師配置事業により、3中学校に2名の外部人材を配置し、活用した。
	○授業や大会等における順天堂大学との連携強化	○小学校駅伝競走大会にて、伴走等で陸上競技部学生3名の協力を得て実施した。
	○運動に親しむ能力を育成するための授業改善指導	○各校からの要請に基づき、指導主事を派遣し、体育科（保健体育科）学習の授業改善を図った。
(4) 運動部活動の充実	○部活動サポート事業による指導者派遣	○部活動サポーター25名を派遣し、技能及び競技力の向上を図った。
	○部活動補助金交付事業による経済的支援	○各種大会及び関東大会並びに全国大会の交通費等の経費について支援を行った。

②学校保健衛生の充実		
(7) 健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健指導教材の整備</li> <li>○薬物乱用防止教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健指導教材（血管模型）や歯科保健指導教材（位相差顕微鏡・かみかみセンサー）を各校へ貸し出し、事業の充実に努めた。</li> <li>○北総地区少年センター職員を講師として、薬物乱用防止教室を実施するとともに、保健授業においても薬物の依存性や怖さを学んだ。</li> </ul>
(4) 学校保健会の活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携</li> <li>○各専門部会（学校薬剤師、栄養士、養護教諭）の活動の支援</li> <li>○「印西市の学校保健」（小冊子）と学校保健会報の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健理事会を1回実施した。</li> <li>○学校薬剤師部会を2回、栄養士部会を3回、養護教諭部会を4回保健活動部会2回、アレルギー検討会2回実施した。</li> <li>○「印西市の学校保健」を1回、学校保健会報を3回発行した。</li> </ul>
(7) 健康診断の実施と事後措置の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学前児・児童・生徒の健康診断の実施</li> <li>○健康診断結果の集計と分析</li> <li>○個別指導の充実（治療勧告）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒への定期健康診断（内科・歯科・耳鼻科・眼科・尿検査・結核等）及び就学時健康診断を実施した。</li> <li>○健康診断結果を「印西市の学校保健」にまとめた。</li> <li>○健康診断結果に基づき、個別指導を実施した。</li> </ul>
(5) 小児生活習慣病の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小児生活習慣病予防検討部会の開催（学校医、養護教諭、栄養教諭等）</li> <li>○小児生活習慣病予防検診の実施（小学校5年生、中学校1・3年生対象）</li> <li>○養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防教室及び事後指導・個別相談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2回開催し、結果に基づいた事後指導等について検討した。</li> <li>○小学校5年生、中学校1・3年生を対象に検診を実施し、必要な児童生徒に受診勧奨を行った。</li> <li>○小学校5年生を対象に1単位時間、中学校1年生を対象に2単位時間の予防教室を実施し、必要に応じて個別に事後指導や相談を行った。</li> </ul>
(7) 口腔衛生事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校歯科保健検討部会の開催（学校歯科医、養護教諭、歯科衛生士等）</li> <li>○学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2回開催し、結果に基づいた事後指導及びブラッシング指導、要医療の受診率向上について等について検討した。</li> <li>○全小中学校で学校歯科医や歯科衛生士による歯科保健指導を実施した。</li> </ul>
(7) 保健室機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健室の整備</li> <li>○健康相談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各校からの要望に基づき、必要に応じて備品等の整備を行った。</li> <li>○養護教諭の資質向上と児童生徒の健康課題解決を目指して、養護教諭部会の中に保健指導班を設け、研鑽を積んだ。</li> </ul>
(7) 学校環境衛生の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境衛生検査の実施（水質検査、照度検査、空気検査等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○照度、照明検査、飲料水・プール水質検査、空気環境調査（ホルムアルデヒド・二酸化炭素・二酸化窒素）、ダニアレルゲン検査、配膳室衛生検査を実施した。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	2項目の事業が概ね計画どおりに実施されているため。
今後の課題	体力テストの結果に基づく体育科、保健体育科の授業改善。

#### (4) 学校給食の充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①学校給食の充実		
(7) 食に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「印西市食育ミニマム」や食に関する指導の全体計画に基づいた組織的な指導</li> <li>○栄養教諭・養護教諭・学級担任等の連携による食育指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員への周知を強化し、「印西市食育ミニマム」に基づいた組織的な指導を実施した。</li> <li>○各種授業や給食時の訪問等で、学校と連携を図りながら実施した。</li> </ul>

(イ) 学校給食の充実	○栄養教室・食育の授業の開催 (全小学校1・3年生, 希望する小学校の2・4・6年生に実施)	○小学校1年生「みんなの給食」, 小学校3年生「野菜パワーのひみつ」を全クラスに実施した。小学校2年生「3つのなかまわけ」(18校), 小学校4年生「元気が出る朝ごはんを考えよう」(18校), 小学校6年生「栄養を考えた朝食にしよう」(17校)を希望校で実施した。
	○小児生活習慣病予防教室の開催 (全小学校5年生・全中学校1年生対象)	○養護教諭及び給食センター栄養士の指導により, 小学校5年生「生活習慣病を予防しよう」, 中学校1年生「バランスの良い朝食を食べて生活習慣病を予防しよう」を全小中学校で実施した。
	○家庭・地域と連携した食育の推進	○「食育つうしん」を年12号発行し, 家庭への啓発を行った。授業終了後, 指導内容がわかる保護者資料の配付とともに家庭と連携した事後活動を実施した。
	○ちば食育ボランティア, ちば食育サポート企業の活用	○全小中学校に啓発資料を配付し, 活用を促した。
	○献立の工夫と改善	○印西市産の食材を54%, 千葉県産を14%使用し, 地産地消を推進した。
	○衛生管理の徹底	○衛生管理に関する研修会を行った。
	○給食残渣等の再資源化	○給食残渣の堆肥化を業者に委託し, その再資源化を図った。
○食物アレルギーへの対策	○食物アレルギー保健調査票を基に使用食品一覧表, 加工食品分析表を保護者に配付し, 事故防止に努めた。各小中学校でエビペン研修, 心肺蘇生法講習会を実施した。	
○学校給食センター老朽化への対応	○経年劣化や破損による修繕の必要な箇所に対して, 随時対応した。	

施策評価	A
評価理由	事業が概ね計画どおりに実施されているため。
今後の課題	学校給食センターの老朽化に伴う施設, 設備の修繕。

## 2 安全で安心できる教育環境づくり

### (1) 教育環境整備の充実

事業	事業内容 (平成30年度目標)	平成30年度実績
①学校・幼稚園施設の充実 (7) 安全な学校・幼稚園施設等の充実	○小・中学校の大規模改修工事  ○中学校のトイレ洋式化工事  ○管理・教材備品等の整備	○原小学校校舎増築工事 完了  ○中学校のトイレ改修工事(7校)完了  ○机・椅子については1,655組を, 校務用パソコンについては, 小学校でノート型389台, デスクトップ型20台, 中学校でノート型214台, デスクトップ型9台を整備した。
②就学援助の充実	○経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に就学援助を実施	○要保護・準要保護家庭の小学校入学予定者21名, 小学校220名, 中学校155名, 児童生徒合わせて396名に対して就学援助費を給付した。

施策評価	A
評価理由	計画的に遺漏なく実施した。
今後の課題	就学援助制度を必要とする家庭が利用できるように, さらに周知方法及び申請方法を考える必要がある。

(2) 学校の適正規模・適正配置の推進

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①学校の適正規模・適正配置の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校適正規模・適正配置基本方針における検討対象校の適正化に向けた検討と調整</li> <li>○学校適正配置審議会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づく学校適正配置が進捗した。 (宗像小学校のいには野小学校との統合、本塾第一小学校と本塾第二小学校の統合)</li> <li>○学校適正配置審議会から、進捗状況等を踏まえた今後の対応等について答申を受けた。</li> </ul>
施策評価	A	
評価理由	印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者及び地域住民に理解が得られるよう意見交換会を開催した。また、学校適正配置審議会を開催し、進捗状況と今後の対応等について諮問した。	
今後の課題	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営面の課題を解消し、より教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、引き続き学校の適正規模・適正配置を推進する必要がある。	

(3) 学校安全の推進

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①安全教育の充実 (7) 安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通安全教室の実施（幼・小・中学校）</li> <li>○防犯教室の実施（幼・小・中学校）</li> <li>○避難訓練の実施（幼・小・中学校）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通安全教室を全幼稚園・全小中学校で実施した。</li> <li>○防犯教室を全幼稚園・全小中学校で実施した。</li> <li>○避難訓練を全幼稚園・全小中学校で実施した。</li> </ul>
(4) 児童生徒・園児の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災計画・学校安全マニュアルの見直しと定期的な施設点検の実施に関する指導・助言</li> <li>○防犯ブザーの貸与（小学新生徒対象）</li> <li>○自転車通学用ヘルメット貸与（小中学新生徒対象）</li> <li>○メール配信システムの活用（幼・小・中学校等）</li> <li>○防災行政無線を活用しての見守り活動の推進（児童の声）</li> <li>○安全主任等研修会の開催</li> <li>○「こども110番の家」の推進</li> <li>○台風・雷雨・竜巻等自然災害対応安全指導の充実</li> <li>○理科薬品の安全管理の指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全主任研修会で指導・助言するとともに、諸表簿点検の際に指導主事等による確認を行った。</li> <li>○防犯ブザーを小学校1年生及び転入生に貸与した。</li> <li>○自転車通学用ヘルメットを中学校1年生に貸与した。</li> <li>○防犯情報、活動予定等を保護者等にメール配信し、主に緊急を要する情報の提供を図った。</li> <li>○継続的に実施した。</li> <li>○小中学校の安全主任を対象に、1回の研修会を実施した。</li> <li>○全小中学校で「こども110番の家」の設置を推進した。</li> <li>○自然災害への対応について、事前に各校へ注意喚起を促すとともに、各校では児童生徒への指導を行った。</li> <li>○理科薬品管理簿の点検（全校）と薬品庫の点検（3校）を行い、確認事項や改善が必要な点について指導・助言を行った。</li> </ul>
(9) 通学路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な通学路安全点検の実施と警察・道路管理者等と連携した対応</li> <li>○児童・保護者・教師等の点検による全小学校区の安全マップの作成及び関係機関への配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「印西市通学路交通安全プログラム」に基づき、全小学校で通学路の点検を実施するとともに、関係各課・関係機関と連携し、通学路の改善を図った。</li> <li>○安全マップを小学校1年生及び転入生に配付するとともに、年度末には改訂を行った。</li> </ul>
(15) 学校管理下における災害共済給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入の推奨</li> <li>○災害給付手続きに関する学校への情報提供及び指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各校を通じて加入を推奨し、加入率は100%であった。</li> <li>○手続きに関する手引きを各校に配付するとともに、研修会等で指導・助言を行った。給付金を直接保護者へ口座振替を行った。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	事業が概ね計画どおりに実施されているため。
今後の課題	登下校における児童生徒の安全確保。

#### (4) 開かれた学校づくり

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①学校情報公開と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校ホームページを活用した学校広報の充実</li> <li>○教育センターホームページを活用した各学校の取り組みの共有化</li> <li>○地域人材の活用（学校・家庭・地域の連携）</li> <li>○学校評価による学校教育の改善</li> <li>○学校公開授業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全小中学校がホームページを通して積極的に情報を発信し、全校で年間約380万件のアクセスを得た。</li> <li>○教育センターホームページで各校の様子や取組を紹介し、情報共有の推進を図った。</li> <li>○読み聞かせや高齢者との交流、職業人の講話等、各校の指導計画に基づき、活用の工夫に努めた。</li> <li>○各校で学校評価を実施し、結果をホームページ上などで公開した。</li> <li>○各校で公開授業（授業練磨の公開日）や休日の参観日を実施し、授業公開の推進を図った。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	事業が概ね計画どおりに実施されているため。
今後の課題	各学校がホームページをより安定的に運用し、効果的な情報発信ができるようにするための支援。

#### (5) 情報化社会に対応した教育の推進

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①教育関係資料の収集・活用・教育広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育資料の収集・活用・提供</li> <li>○学校間グループウェアと文書管理システムを活用した教育関係資料・各種文書の電子化及び共有化</li> <li>○教育センターホームページによる教育広報推進</li> <li>○学校ホームページ及びメール配信システムの広報的機能強化</li> <li>○SNS等対応ネットリテラシー教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各校で実施した研究授業の指導案約200本をデータベースに新規追加し、市内全校で活用できるようにした。</li> <li>○教育委員会からの通達文書はグループウェアを利用して円滑に接受・校内回覧が行われるようにした。</li> <li>○教育センターホームページに各校の様子や取組を日々紹介し、年間20万件余りのアクセスを得た。</li> <li>○小中学校ホームページにて日常的に情報を発信しており、市内小中学校全体で年間約380万件のアクセスを得た。</li> <li>○小中学校の要請に応じて、児童生徒・保護者を対象に、指導主事等によるSNSネットリテラシー出前授業を8回実施した。</li> </ul>
②情報教育及びICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科指導用ICT関連環境整備の充実</li> <li>○校務システムの機能充実</li> <li>○校務システムを活用した学籍・成績・保健等の校務情報化推進</li> <li>○公募や文書、教育情報の電子化の推進</li> <li>○各システムやサーバー・端末等の適正な運用管理</li> <li>○情報セキュリティポリシー遵守の徹底</li> <li>○教育CIOの配置、ヘルプデスク設置</li> <li>○情報教育及び教科におけるICT活用に関する研修の実施及び各学校への出前講座実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各小中学校に整備されたタブレット端末の維持管理に努めた。</li> <li>○生徒指導情報の一元管理について周知を図り、機能利用推進を図った。</li> <li>○指導要録をはじめとする学籍・成績の情報を一元管理し、安全性の確保並びに業務の効率化の推進を図った。</li> <li>○教育委員会からの通達文書のほぼ全てをデジタル化して、各校へ発信した。グループウェアの機能を利用して、校内デジタル回覧の推進を図った。</li> <li>○保守管理の委託業者が適宜対応し、トラブルの未然防止と早期対応を図った。</li> <li>○管理職を対象とした研修会及び異動者を対象とした研修会等で情報セキュリティポリシーについて伝達し、周知を図った。</li> <li>○校務システムに関するヘルプデスクを常設し、市内教職員の操作上の質問について迅速に回答することができた。</li> <li>○ICT活用に関する校内研修に指導主事を派遣し、指導・助言を行った。また、個別の要請に対しても指導主事が対応し授業での機器利用推進を図った。</li> </ul>

○学校図書館システムの活用推進

○学校図書館担当者を対象に、2回の図書システム研修会を実施した。

施策評価	A
評価理由	2項目の事業が概ね計画どおりに実施されているため。
今後の課題	ICT機器導入のさらなる推進。

## Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

### [生涯学習・生涯スポーツ]

#### 1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

##### (1) 生涯学習情報の充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①生涯学習ガイドの発行	○生涯学習ガイドの発行  ○冊子内容を市ホームページでも提供	○300部発行。講師、講座、団体、資料、物品、施設情報の掲載を行った。各公民館・図書館・学校・コミュニティセンター・保健センター・老人福祉センター等の窓口への配布を行った。  ○市ホームページへの掲載を行った。年度途中で講師情報の追加があった場合は、HPを更新して対応した。 アクセス件数は、844件。
施策評価	A	
評価理由	予定部数を発行・ホームページ掲載を行い、情報提供の目的は概ね達成された。	
今後の課題	生涯学習ガイドの利用の機会を増やすことを検討しながら、情報提供の充実化に努める。	

##### (2) 多様な学習機会の提供

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①市民アカデミーの充実 【リーディング施策関連事業】	○市民アカデミーの充実  ○市民アカデミープロジェクトチームによる学習計画の充実・運営  ○公民館・地域交流館などの事業での活用の充実	○1年生計25回（延べ1,107人）、2年生計19回と自主勉強会を随時、地域活動課程11回（延べ77人）を実施。 市民活動へ導くためのプログラム編成にしたことにより、学んだあと市民活動団体に加入するなど市民活動の推進につながった。  ○推進係より2名、各公民館・中央駅前地域交流館よりアカデミー担当者各1名、社会教育指導員1名により学習プログラムやアカデミー生の募集の仕方について協議を行った。  ○自主勉強として公民館・地域交流館などの事業を紹介し、講座にも参加することを勧めている。
②公民館・地域交流館主催事業の充実 【リーディング施策関連事業】	○市民ニーズや社会的課題をとらえた事業の実施  ○子ども対策事業の充実  ○大人対象事業の充実  ○団体や行政等との共催事業の充実	○IT関連講座 3講座（延べ287人） ○整理収納関連講座 3講座（延べ287人） ○健康関連講座 3講座（延べ172人） ○防災・災害対策講座 1講座（延べ22人） ○印西市新発見バスツアー 計2回（延べ28人）を実施（中央駅前地域交流館）  ○スポーツ、工作、芸能、学習講座等 42事業（延べ34,172人） ○わくわく探検隊 計6回（延べ134人）実施（中央駅前地域交流館）、科学あそび 計2回（延べ30人）実施（中央駅前地域交流館）  ○趣味、教養、工芸、料理講座等 23事業（延べ5,059人） ○はつらつクラブ 計8回（延べ180人）を実施（中央駅前地域交流館）、季節の料理講座 計3回（48人）を実施（中央駅前地域交流館）  ○かるた大会、科学遊び、野外教室等（印西市民アカデミーを除く）14事業（延べ492人） ○初心者向けパソコン講座 計16回（延べ173人）を実施（中央駅前地域交流館）
③図書館サービスの充実	○図書・視聴覚資料などの貸出  ○レファレンスサービス・事業・資料の充実	○市立図書館6館において、延べ272,014人の利用者に対し、869,503点の図書館資料貸出を行った。  ○市立図書館6館において、窓口・電話でのレファレンスを24,146件受付した。年間を通して事業を実施した。14,452点（購入・寄贈）の資料を受け入れて、資料を充実した。

④生涯学習まちづくり出前講座の充実 【リーディング施策関連事業】	○市民の学習機会を増やし、市民参画のきっかけとなる生涯学習まちづくり出前講座の充実	○市ホームページの他、広報、町内会のを回覧で出前講座の周知に努めた。90件1,750名が受講した。
-------------------------------------	---	---

施策評価	A
評価理由	市民活動に導くためのプログラム編成をしたことにより、学んだあとに市民活動に参加する卒業生が増加している。
今後の課題	受講者の満足度の高いものになるような事業を実施すること。 市民アカデミーにおいては、市民活動への参加をより促すことと受講生の増加を目指し、プログラムを検討する。

### (3) 生涯学習環境の整備・充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①生涯学習環境の整備・充実	○公民館・地域交流館や図書館の適正な維持・改修  ○生涯学習機能の充実  ○社会教育主事などの配置  ○文化ホール大規模改修事業	○各公民館等施設の老朽化部分等の改修を行った。 ○小倉台図書館のトイレ改修工事等施設維持のための改修を行った。  ○各公民館・交流館でさまざまなジャンルの主催事業を展開した。 ○市立図書館6館において、幼児・小学生を対象におはなし会や図書館探検隊、図書館クイズ、科学あそび、クリスマス会、一般成人を対象に大人の図書館探検隊等各種事業を実施した。  ○生涯学習課に1名を配置し施策、事業の推進に努めた。  ○大規模改修工事設計業務委託による基本設計及び実施設計を行った。

施策評価	A
評価理由	概ね計画通り実施できた。
今後の課題	施設の改修計画を検討し、生涯学習環境の整備・充実に努めること。

### (4) 高等教育機関等の連携協力

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①産学官民の連携・協力	○大学などの高等教育機関や企業などとの連携協力  ○市民・市民団体との連携・協力	○順天堂大学公開講座（順天堂大学・印西市・酒々井町共催）を実施。内容はサッカー教室、バラスポーツ教室、体操競技教室、バスケットボール教室、10月21日、28日、11月11日、18日の日曜日（全4回）に開催し、市から45名の親子が参加した。  ○市民アカデミーの講師として、NPO法人を含む市民団体を活用し、講座の充実を図った。（10団体）
②社会教育関係団体の支援	○社会教育関係団体の支援  ○ボランティアの育成や地域で活動する個人・団体のネットワーク化の推進	○補助金による活動支援、事業後援等により活動を側面から支援した。（後援：14事業）  ○地域活動に取り組む人材の育成を図るために、アカデミーのプログラムを市民活動へ導くための編成にした。

施策評価	A
評価理由	概ね計画通り実施されている。
今後の課題	大学・企業・団体との連携・協力を深めて、充実させること。

## 2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

### (1) 青少年の健全育成活動の推進

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①「こども110番の家」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こども110番運営委員会などの支援</li> <li>○こども110番ステッカー・看板の提供</li> <li>○こども110番の家災害補償保険の加入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども110番運営委員会を5月に開催し、事業趣旨等の説明により、協力依頼や事業の周知を図った。</li> <li>○新規の協力申し込みや破損等による交換などに対応をした。協力家庭数及び事業所数の調査を行った。(1,422件)</li> <li>○協力家庭及び事業所等の不測の事態に備え、保険に加入した。</li> </ul>
②青少年健全育成大会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子で参加し、考える機会となる青少年健全育成大会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「社会を明るくする運動」とともに7月8日(日)に開催。「社会を明るくする運動」作文コンテスト表彰者の朗読、小学校・中学校、印西ゆめ太鼓による舞台発表を行った。参加者 500名。</li> </ul>
③地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実【リーディング施策関連事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区ごとに学校や地域で活動する団体が協力し、コミュニティづくりと生活環境の整備を図る地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6中学校区(船徳中、木刈中、小林中、西の原中、滝野中、本塾中)で事業に取り組み、安全パトロール、声かけ運動、バザー等の事業を地域の団体が連携協力し学校とともに活動した。また、全体会を実施し、各地区の活動事例報告や意見交換を行って情報の共有化を図った。</li> </ul>
④放課後子ども教室の実施【リーディング施策関連事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後子ども教室の実施・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○滝野小学校64名・13回、本塾第二小学校26名・13回、船徳小学校24名・48回で教室を実施した。</li> </ul>
⑤成人記念式典の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新成人運営スタッフの企画・運営による成人記念式典の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○30名の運営スタッフにより3回の会議を行い、企画・準備にあたり、式典当日の運営を行った。</li> </ul>
⑥子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館での読み聞かせ等の実施</li> <li>○学校での読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通年で行うおはなし会に1,481名(全館)、夏のおはなし会に226名(大森、印旛、本塾)、ぬいぐるみといっしょのおはなし会に32名(本塾)、クリスマス会に247名(大森、小林、小倉台、本塾)、春のおはなし会に78名(そうふけ)の参加者があった。</li> <li>○家庭教育学級で図書館司書・学校図書館司書による読み聞かせの指導のほか、ホームページなどを活用した広報・啓発を行った。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	概ね計画通り実施されている。
今後の課題	さわやかコミュニティ推進事業と放課後子ども教室事業の実施校を増やし、学校・家庭・地域の連携を深めること。

### (2) 家庭教育の推進

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①家庭教育学級の充実【リーディング施策関連事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各公立幼稚園・小中学校での家庭教育学級開設</li> <li>○家庭教育学級主事会議の開催</li> <li>○家庭教育学級運営委員研修会の開催</li> <li>○家庭教育指導員の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必修31学級、学年14学級、計45学級開設。参加延べ人数3,485名の方が学級生として学んだ。</li> <li>○幼稚園長・小中学校教頭に、家庭教育学級主事を委嘱、指導・助言にあたってもらった。4月16日と2月7日の2回主事会議を開催した。</li> <li>○各学級代表者を対象に、4月26日と2月20日の2回研修会を実施した。</li> <li>○家庭教育指導員を1名を配置し、指導助言にあたった。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	概ね計画どおり実施されている。
今後の課題	必修学級を終了した学級生を学年学級開設に導くこと。

### 3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実

#### (1) スポーツ参加機会の拡充

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①スポーツ情報システムの充実	○公共施設予約システムの有効活用 ○スポーツ情報の集約と多様な情報の提供	○公共施設予約システム 登録者数3,824組 ○市ホームページ、体育協会ホームページ、広報誌へ各種行事等を掲載し、情報提供を行った。また、体育協会の機関だよりの発行を支援した。（年2回）
②市民参加型スポーツの普及・推進	○市民ニーズに対応した各種スポーツ教室の支援 ○高齢者のスポーツ活動の支援	○アスリート教室（卓球）、スキー教室を実施するとともに、体育協会主催の7種目のスポーツ教室の開催支援を行った。 ○スポーツ備品等の整備及び貸出しを実施した。
③スポーツによる健康づくりの推進	○ニュースポーツ等の教室・大会の開催及び支援	○スポーツ推進委員による、ニュースポーツ教室（9回）及びニュースポーツ大会（1回）を開催した。
④市民ぐるみのスポーツイベントの推進	○スポーツ医学セミナーの開催 ○イベントの開催や各種スポーツ大会・教室の支援	○健康づくりをテーマにセミナーを実施した。 ○スポーツフェス（体育の日行事）や実行委員会主催によるラグビーまつり、室内棒高跳を開催した。
⑤スポーツイベントの誘致	○イベントの誘致	○クライミングリードジャパンカップ及び関東大学女子駅伝を開催した。

施策評価	A
評価理由	スポーツフェスの開催や、クライミング教室及びリフレッシュ教室（ソフトエアロビクス・リズム体操・ヨガ）を実施し、スポーツ機会の増加を図ることができた。
今後の課題	多様化するニーズに対応する体制作りが必要である。

#### (2) 特色あるスポーツ事業の展開

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①クライミングの普及・推進	○団体の育成と施設の整備検討	○市主催事業として、教室（12回）・認定会（4回）を実施した。
②パークゴルフの普及・推進	○団体の育成と利用推進	○パークゴルフ場を整備・運営するとともに、体育の日にパークゴルフ場を無料開放し普及に努めた。

施策評価	A
評価理由	概ね順調に事業を行うことができた。
今後の課題	クライミングについて、誰もが気軽に行えるよう、施設整備と運営体制の充実が必要である。

#### (3) スポーツ・レクリエーション施設の充実

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①利用者の視点に立った施設運営	○スポーツ施設の管理・運営 ・総合体育館 ・陸上競技場 ・野球場（7ヶ所） ・テニスコート（23面） ・弓道場（2か所） ・多目的運動広場（3か所） ・パークゴルフ場 ・多目的球技場（2か所）	○各施設の利用状況 163,780人 17,886人 109,882人 66,814人 5,782人 22,554人 10,902人 11,970人

②学校体育施設利用の推進	○学校体育施設の利活用の推進	○市内小中学校29校を一般開放し、190団体・4,382人が利用している
③スポーツ施設利用の多様化への対応	○民間施設の有効利用	○東京電機大学平岡グラウンド 5,907人 六軒河川敷広場 3,450人

施策評価	A
評価理由	概ね順調に事業を行うことができた。
今後の課題	一部の施設においては、大会規模により駐車場が不足している。

#### (4) スポーツ指導者等の育成

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①スポーツ指導者の育成	○スポーツ推進委員活動の促進	○スポーツイベントの企画・立案を行った。 (委員数30名 平均出勤日数13日)
	○スポーツ少年団指導者の拡充と資質向上	○県スポーツ少年団認定養成講習会に参加した。
	○生涯スポーツ等指導者の育成	○県・郡主催のニュースポーツ研修会等に参加した。
②スポーツリーダーバンクの構築	○スポーツリーダーバンク登録者の活用	○リーダーバンク登録者を取りまとめ、団体等からの要請に応じる体制を整えた。
③スポーツボランティアの育成	○スポーツボランティア活動の促進	○各種スポーツイベントを、ボランティアスタッフと連携し運営した。
④スポーツ団体等の活動支援	○体育協会への支援と連携	○体育協会に補助金を交付し、運営や市民大会等の開催を支援した。体育協会が中心となり、19競技49の市民大会を開催した。
	○スポーツ少年団への支援と連携	○スポーツ少年団に補助金を交付し、市交流大会の実施や各大会の開催を支援した。
⑤競技力向上の推進	○郡市民体育大会・県民体育大会への選手派遣	○郡市民体育大会において、310名を派遣し、17競技25種目、全競技に参加した。(総合2位) 千葉県民体育大会においては、20競技103名を派遣した。
	○トップレベル選手との交流機会の提供	○ラグビーまつり、関東大学女子駅伝、アスリート教室及び室内棒高跳の開催により、トップレベルの選手との交流機会を提供した。

施策評価	A
評価理由	事業は概ね順調に実施できた。
今後の課題	各団体ともに充実した活動を行っているが、指導者・スポーツボランティア等の強化育成のため、継続的な支援が必要である。

#### (5) 総合型地域スポーツクラブへの支援

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①総合型地域スポーツクラブの育成	○総合型地域スポーツクラブの支援	○スポーツ備品等の貸出し、活動場所の確保による支援を行った。
	○市民への啓発活動の促進	○総合型スポーツクラブのポスターを掲示した。

施策評価	A
評価理由	事業は概ね順調に実施できた。
今後の課題	新規設立に向けた支援等も行っていく必要がある。

### Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

#### 1 創造性を育む文化・芸術活動の推進・継承

##### (1) 文化芸術に触れる機会の拡大

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①文化・芸術事業の充実 【リーディング施策関連事業】	○文化ホール主催事業等の実施	○鑑賞型8事業，参加型1事業，地域文化振興型1事業の計10事業を実施した。
施策評価	A	
評価理由	計画した10事業全て実施し，うち鑑賞型有料公演3事業は完売した。平均売上率も目標である80%を達成したため。	
今後の課題	主催事業等については，市民への幅広い分野の鑑賞機会の提供に努めているため事業内容により集客に差がみられている。については，チケット販売率向上のため広報方法等の検討を行う必要がある。	

##### (2) 市民の自主的な活動の支援

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①文化芸術活動の支援	○市民文化祭の実施	○前年度までの4会場から5会場へと会場を増やし，新規にいんざい君作品展，健康マージャン大会を実施した。参加者及び来場者数は過去最高の8,423人であった。期間：平成30年10月31日～11月25日。
	○芸術文化団体活動への支援	○事業の共催や後援により，団体活動の支援を行った。
	○芸術文化情報の提供	○公民館，文化ホール等の窓口へのポスター・チラシ等の配布，市ホームページへの掲載，関係団体への資料提供を行った。
②地域文化活動の支援 【リーディング施策関連事業】	○市民の地域文化活動への支援	○企画提案型協働事業として，木下まち育て塾による印西市木下地区歴史講座事業や，印西ふるさと案内人協会による木下街道膝栗毛リターンズを実施するなどの活動支援を行った。
施策評価	A	
評価理由	事業は概ね順調に実施できた。	
今後の課題	芸術文化団体会員の高齢化及び会員数減少に対する支援が必要である。	

##### (3) 子どもをはじめとする次世代の育成

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①子どもたちの文化芸術活動の充実	○文化芸術活動体験の実施	○文化祭において，押花，茶道，陶芸等の体験会やいんざい君塗り絵作品の募集など子どもが参加しやすい事業を実施した。
②芸術文化活動を支える人材育成の推進	○芸術文化協会と連携し，地域の文化芸術活動を支える人材育成を支援する。	○印西市芸術文化協会と連携し，各団体の公益的で自主的な活動のサポートを行った。
施策評価	A	
評価理由	各事業において，概ね順調に実施できた。	
今後の課題	子どもたちの活動として多様な選択肢がある中で，自発的・継続的に文化芸術活動に取り組めるような魅力的なコンテンツを開発する必要がある。	

## 2 文化財の保護・活用

### (1) 文化財の保護

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①指定文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有形文化財、史跡及び天然記念物の保存</li> <li>○無形民俗文化財の継承支援</li> <li>○文化財の普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財所有者に対し、保存・管理に関する指導・助言及び文化財保存管理経費に伴う補助金の交付を行った。また、市指定史跡の環境保全に努めた。補助金交付 7団体325,000円</li> <li>○指定無形民俗文化財の保存会や各伝承者に対し、保存・継承に関する指導・助言を行った。また、保存・継承活動に対し補助金を交付した。補助金交付 6団体2,027,000円</li> <li>○「印西市の指定文化財」パンフレット、「木下貝層」冊子及びパンフレットを作成し、文化財の周知に努めた。また、文化財防災訓練を実施し、地域における文化財愛護思想の普及と防災意識の向上に努めた。</li> </ul>
②文化財基礎調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仏像調査・石造物調査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○印旛地区において仏像調査、本埜地区において石造物調査を実施した。</li> </ul>
③埋蔵文化財の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内主要遺跡調査の実施</li> <li>○埋蔵文化財の取扱い事務及び埋蔵文化財包蔵地の保護</li> <li>○道作古墳群活用事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道作1号墳の発掘調査を行い、石棺内ファイバースコープ調査を行った。</li> <li>○開発行為等に伴う発掘調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の保護に努めた。</li> <li>○企画提案型協働事業として、NPO法人小林住みよいまちづくり会と協働し道作古墳群見学会等の事業を実施した。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	各事業において、概ね順調に実施できた。
今後の課題	道作古墳群をはじめとした史跡等の整備・管理に努め、その活用について引き続き具体的に取り組んでいく必要がある。また、文化財保護と活用に向けた各種基礎調査を継続して実施し、成果の公表に向けた準備が課題となる。

### (2) 文化財の活用

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①文化財の活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有形文化財、史跡及び天然記念物の活用</li> <li>○無形民俗文化財の公開</li> <li>○埋蔵文化財の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民具の収集・公開事業を実施した。</li> <li>○指定無形民俗文化財の公開について、事業の周知・支援を行った。また、指定無形民俗文化財映像記録DVDの貸出を行い、地域での伝承や教育に活用した。</li> <li>○NPO法人小林住みよいまちづくり会と協働で、道作古墳見学会を実施した。また、道作1号墳発掘調査に係る現地説明会を開催し、発掘成果の周知に努めた。</li> </ul>
②印旛歴史民俗資料館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市域の考古、歴史、民俗等の資料の収集・保管・調査・研究及び成果の公表</li> <li>○常設展示及び企画展示の実施</li> <li>○講座及び体験型事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内古墳の出土品について、大阪大谷大学より移管し、研究紀要として刊行した。</li> <li>○常設展示「民具と考古・歴史資料」 720人/291日</li> <li>○講演会「ミスティカル宗像」実施や体験型事業「勾玉づくり、しめ縄づくり」を開催</li> </ul>
③郷土資料の収集・保存・展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分散化した歴史的資料の集約化の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考古資料や民具などの歴史的資料を収集する際に資料の集約化に努めた。</li> </ul>
④観光事業等の連携による文化財の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の文化財への理解の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の文化財巡りである木下街道膝栗毛リターンズの実施や道作1号墳の見学会を実施し、地域の文化財への理解の推進に努めた。</li> </ul>

施策評価	A
評価理由	各事業において、概ね順調に実施できた。
今後の課題	文化財の有効的な活用に向けて市内文化財の周知・啓発に努め、地域の歴史・文化に対する理解を深める事業を実施していく必要がある。

### 3 市史編さん事業の推進

#### (1) 市史編さん事業の推進

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①市史編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市史刊行に向けた資料収集・調査等の実施</li> <li>○市史講座等の実施</li> <li>○市史及び市史研究誌の刊行</li> <li>○市史刊行物の頒布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市史編さん専門委員編集会議（2回）、同専門部会（75回）を開催した。</li> <li>○資料編近現代2に伴う史料筆耕（65点）</li> <li>○資料収集（新聞資料、地域情報紙、広告資料等）・調査（古文書、城郭・石塔等）</li> <li>○市史講座「木下河岸旧記を読む」 実施日 平成30年5月～平成31年2月 実施場所 木下交流の杜歴史資料センター 講師 センター職員 参加者 延べ88人</li> <li>○市史編さん講演会 演題 印西の中世石塔をさぐる 実施日 平成30年11月18日 実施場所 ふれあいセンターいんば 講師 本間岳人氏（印西市史編さん委員） 参加者 62人</li> <li>○資料編近現代2の編集を行った。</li> <li>○無償頒布329冊（印西の歴史第11号）、有償頒布310冊</li> </ul>

施策評価	B
評価理由	4項目の事業は概ね計画どおりに実施したが、印西市史資料編近現代2の発刊が掲載資料の一部差し替えが生じたことにより令和元年度に繰り越すことになった。
今後の課題	事業を継続するとともに、広報を通じて市史編さん事業の市民への周知・理解を図り、事業への協力を促進し、事業実施体制の充実を図り、市史刊行については、適正な進捗に努める。

#### (2) 地域史料の保存と活用

事業	事業内容（平成30年度目標）	平成30年度実績
①地域史料の保存及び活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営</li> <li>○古文書等の調査及び収集</li> <li>○古文書等の整理及び保存活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開館日数291日、来所者数3,627人</li> <li>○展示事業 常設展示（年間） 展示説明10件 平成30年度千葉県博図公連携事業「巡回展・写真でつづる千葉県と鉄道」 会期 11月24日～12月7日（12日間） 展示解説会 11月25日 参加者数17人</li> <li>○市内外所在の地域史料に関する概要調査及び古文書等の収集を実施した。</li> <li>○保管している古文書の整理等を実施した。</li> <li>○保管資料のうち当該年度に受け入れた資料の燻蒸消毒を実施した。</li> </ul>
②歴史公文書の収集、整理保管	○歴史公文書の引継、整理保管	○平成30年度引継件数 2,338件 保管総数 約40,240点（未整理分見込む）

施策評価	A
評価理由	4項目の事業が概ね計画どおりに実施されている。
今後の課題	事業を継続するとともに、地域史料の保存環境の整備に努めつつ史料の調査研究を進め、市史及び歴史資料センターの事業で活用を図る。

## リーディング施策（生涯学習課推進係）

《平成30年度 主な取り組み》

◇地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動を支援するとともに、人材の情報共有や交流を進めます。

◇生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術活動の各分野の交流を進めます。

担当課・係	生涯学習課 推進係
-------	-----------

方 向 性	生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術稼働の各分野の交流を進める。
-------	--------------------------------

基本目標の取組概要	ニュースポーツや文化芸術に触れる機会を提供し、交流のきっかけをつくる。
平成30年度の 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民アカデミーのプログラムの中にニュースポーツの講座を設けて体験してもらう。</li> <li>●放課後子ども教室のプログラムに大正琴を体験する講座を企画し、文化芸術活動に触れる。</li> </ul>

●教育振興基本計画上の数値目標

指 標 名	現況値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)	実 績 (平成30年度)	説 明
ニュースポーツ講座 参加者	43	60	48	市民アカデミー1年生のプログラムに ニュースポーツ体験を2講座設けて体験を した。参加者数は48名だった。
放課後子ども教室参 加者	0	50	26	本埜第二小学校スマイル教室にて実施（1 日）

●目標の達成度

<p>●市民アカデミー1年生のプログラムにおいて団体競技になる「ユニカール」と個人競技になる「ノルディックウォーク」を体験した。</p> <p>放課後子ども教室は、本埜第二小学校で実施し、教室参加者26名が大正琴に触れて文化技術活動を体験した。</p>
--

## リーディング施策（生涯学習課文化係）

《平成30年度 主な取り組み》

◇地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動を支援するとともに、人材の情報共有や交流を進めます。

◇生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術活動の各分野の交流を進めます。

担当課・係	生涯学習課 文化係
-------	-----------

方 向 性	生涯学習、文化芸術の活動を支援し、各分野の交流を進める。
-------	------------------------------

基本目標の取組概要	市内の文化芸術団体と連携して体験会を開催し、様々な世代が文化や芸術に触れることのできる機会を提供する。
平成30年度の 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民文化祭において陶芸、押し花、大正琴などの体験会を実施する。</li> <li>●放課後子ども教室において大正琴体験を実施する。</li> </ul>

●教育振興基本計画上の数値目標

指 標 名	現況値 (平成28年度)	目 標 値 (平成33年度)	実 績 (平成30年度)	説 明
市民文化祭体験会参加者	595	1200	1075	平成30年度実績として、茶道198人、陶芸56人、押し花38人、大正琴53人、鉄道模型運転730人の参加者（主催者を含む）があった。
放課後子ども教室参加者	0	50	26	本埜第二小学校スマイル教室にて実施（1日）

●目標の達成度

●今年度の目標を達成することができた。今後は平成33年度の目標値に達するよう内容を充実させていく。

## 4 評価のまとめ

## (1) 評価内訳

具体目標における主な事業毎の評価内訳は、以下のとおり。

### I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

#### 1 学ぶ力，豊かな心，健やかな体を育む教育の推進

番号	重点施策	評価
(1)	学ぶ力を育む教育の充実	A
(2)	豊かな心を育む教育の充実	A
(3)	健やかな体を育む教育の充実	A
(4)	学校給食の充実	A

#### 2 安全で安心できる教育環境づくり

(1)	教育環境整備の充実	A
(2)	学校の適正規模・適正配置の推進	A
(3)	学校安全の推進	A
(4)	開かれた学校づくり	A
(5)	情報化社会に対応した教育の推進	A

### II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する 〔生涯学習・生涯スポーツ〕

#### 1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(1)	生涯学習情報の充実	A
(2)	多様な学習機会の提供	A
(3)	生涯学習施設の整備・充実	A
(4)	高等教育機関等との連携協力	A

#### 2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(1)	青少年の健全育成機会の拡充	A
(2)	家庭教育の推進	A

#### 3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実

(1)	スポーツ参加機会の拡充	A
(2)	特色あるスポーツ事業の展開	A

(3)	スポーツ・レクリエーション施設の充実	A
(4)	スポーツ指導者等の育成	A
(5)	総合型地域スポーツクラブへの支援	A

### Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

#### 1 創造性を育む文化芸術活動の推進・継承

(1)	文化・芸術に触れる機会の拡大	A
(2)	市民の自主的な活動の支援	A
(3)	子どもをはじめとする次世代の育成	A

#### 2 文化財の保護・活用

(1)	文化財の保護	A
(2)	文化財の活用	A

#### 3 市史編さん事業の推進

(1)	市史編さん事業の推進	B
(2)	地域史料の保存と活用	A

#### ※ 評価基準

S…事業の目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。

A…事業の目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。

B…目標が一部達成できなかった。

C…未達成事業が多く、施策の進捗がほとんど認められない。

各施策、主な事業の目標に対しては、進捗、達成度を総合的に判断し、S～Cの4段階の基準において自己評価しました。

今後の方向性としては、PDCAサイクルの一連の検証をもとに事業を進めることが重要であり、印西市教育委員会の機能充実と活性化を図っていきたいと考えております。

## (2) 施策別評価

主な施策における主な事業の評価内訳数は以下のとおり

番号	政策	主な 施策数	主な 事業数	主な事業の評価数			
				S	A	B	C
I	生きる力を持ち未来を拓く 子どもを育む 〔学校教育〕	2	9	0	9	0	0
II	生涯を通して学びスポーツ に親しめる環境づくりを推 進する 〔生涯学習・生涯スポーツ〕	3	11	0	11	0	0
III	心に豊かさをもたらす文化 の保護と振興を図る 〔文化芸術〕	3	7	0	6	1	0
計		8	27	0	26	1	0

## (3) 学識経験者の知見の活用

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項には、事務事業の点検及び評価を実施するに当たっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることが定められております。

このため、印西市教育委員会では事務事業が適切に実施されているか、学識経験者3名から書面で意見をいただいております。

※敬称略

分野	氏名	役職
学校教育分野	井上 愛一郎	聖徳大学教授
生涯学習分野	板倉 脩	元社会教育指導員 元家庭教育指導員
スポーツ振興分野	菊地 謙治	印西市スポーツ協会会長

## 《学校教育分野》

平成30年度の実績については、どの事業においても「施策評価」「評価理由」「今後の課題」が的確に記載されています。また、事業評価についても、実施した全ての事業がA評価と優れた成果を残しています。

### I 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む

#### 1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

##### (1) 学ぶ力を育む教育の充実

- ① 児童・生徒の確かな学力を育むため、各種研修会の実施や指導主事等の派遣、教育課題等の調査・研究、学習指導員・介助員の配置や学生ボランティアの活用など、様々な取り組みが着実に実施され、成果をあげていることが想像できます。客観的な成果指標である全国学力・学習状況調査や千葉県標準学力テストの結果等を授業や教育環境の改善につなげ、さらに児童・生徒一人一人に学力の3要素が確実に定着するよう期待します。
- ② 教育センターを中心に実施している漢字級別認定テストや計算力認定テスト、また社会科ワークテストは、3,000人強の児童が受験しており、テストそのものが定着してきていることを感じます。今後も児童の基礎学力の定着や学習意欲の向上を図るため、事前指導や事後指導を工夫して取り組んでほしいと思います。
- ③ ALTの配置は、小中学生の英語でのコミュニケーション能力を高めるとともに、外国の文化に対する興味・関心を高める上で有益であると考えます。先行実施している小学校5・6年に対する英語の教科化については、指導する先生方をサポートするため、日本人英語コーディネータを全校配置することが望まれます。なお、中学生海外派遣研修については、異文化に触れ、英語学習へのモチベーションをさらに高める意味からも今後も継続してほしい事業です。
- ④ 学習指導員や介助員については、個々の児童・生徒の教育的ニーズにきめ細かく対応し成長をサポートするために、その存在は非常に大きいものがあると思います。また、各学校の教育活動を円滑に進める上でも有効です。83名という人的な配置は印西市の大きな特徴であり、各学校からも大きな要望があることから、今後もその配置を継続してほしいと思います。
- ⑤ 幼稚園に配置している補助教員や支援員は、幼児一人一人にきめ細かく対応した教育を実施する上で必要な人材です。幼児も安全で円滑な園生活が送れています。今後も必要性の拡大が見込まれるため、質実ともに充実することを願います。

##### (2) 豊かな心を育む教育の充実

- ① 教員の指導力向上のための道徳授業実践研修会の開催、芸術文化体験事業や体験的活動の実施などに着実に取り組んでいることが評価できます。なお、豊かな心を育む教育の中心は道徳教育であると考えます。道徳の授業を中心に、全ての教育活動で児童・生徒が道徳的実践力を高めることができるよう、教育委員会の指導・支援をお願いしたいと思います。また、道徳の教科化については、教育委員会の指導や適切な情報提供など、引き続き各学校へのきめ細かな支援をお願いしたいと思います。
- ② 不登校児童・生徒の居場所として適応指導教室が機能していることがわかります。26名の児童・生徒に改善が見られたことは大きな成果です。当該児童・生徒が学校復帰を果たし、未来に希望を持つことができるよう、今後も学校や医療、関係機関との連携を密に対応することを期待します。

- ③ 市長部局の関係課との連携で実施している人権教室もここに位置づけてよいのではないのでしょうか。

### (3) 健やかな体を育む教育の充実

- ① 小学校駅伝競走大会は、印西市独自の取組であり、各学校の練習の成果を発揮する場であるとともに、児童にとって励みや目標になっていると思います。何よりも当該大会に向けて学校全体で取り組んでおり、児童の体力向上に寄与しているものと考えます。
- ② 中学校の運動部活動については、多くの生徒が楽しみにしているものであり、当該スポーツの初期段階で専門家から指導を受けることは大変意義深いものがあると考えます。このような観点から、部活動サポーターの派遣は、サポーター自身の人間性も考慮しながら継続してほしいと思います。また、部活動補助金による経済的な支援も、保護者の負担軽減につながる事業であるため、今後も継続をほしいと思います。
- ③ 学校保健事業や学校環境衛生事業については、医師会や薬剤師会などの関係機関と連携し、どの事業も計画的に実施されています。健康診断については、実施後の事後処置が大切であると考えます。診断結果を職員で情報共有することや病院への通院を促すことなど、事後の対応を確実にほしいと思います。

### (4) 学校給食の充実

- ① 食に関する指導は、全体計画や食育ミニマムに基づき養護教諭や栄養士と連携を図りながら、計画的・組織的に行われていることがうかがえます。また、食育は家庭との連携を図ってこそ効果があるという観点から「食育つうしん」を発行し、家庭の啓発を図る工夫もされています。
- ② 安全・安心で安定的な給食の提供には、給食センターの設備の維持・管理が重要であると考えます。問題が大きくなる前に先手先手の対応をほしいと思います。

## 2 安全で安心できる教育環境づくり

### (1) 教育環境整備の充実

- ① 校舎の大規模改修工事、トイレの洋式化、備品の整備等、計画的に事業が実施されています。幼稚園や小中学校の教育内容を充実させるためには、教育環境の整備が重要です。特に、情報化社会に対応し、児童・生徒の情報活用能力を育成するために、ICT機器の整備・充実を今後もほしいと思います。
- ② 就学援助についても適切に実施され、児童・生徒の大きな助けになっていると思います。今後も周知方法や申請方法を見直し、必要な家庭がもれなく利用できるような工夫をお願いします。

### (2) 学校の適正規模・適正配置の推進

- ① 印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、印旛地区と本埜地区で小学校2校の適正配置が進んだことは大きな成果であると考えます。事務局職員の努力と地域住民の英断に敬意を表したいと思います。
- ② 当初の計画では過少規模の学校として本埜中学校が未実施となっています。「生徒にとってより良い教育環境とは何か、どのような環境で生徒は大きく成長できるか」、保護者や地域住民と課題を共有しながら適正配置が前に進むことを期待しています。

### (3) 学校安全の推進

- ① 避難訓練や防犯教室，交通安全教室などの安全教育の充実に努めるとともに，通学路や学校の安全点検，防犯ブザーやヘルメットの貸与等に取り組んでおり，児童・生徒の安全を確保するための取組が着実に実施されています。
- ② 学校安全で大切な視点の一つは，児童・生徒一人一人が「自分の安全は自分で守る」という意識を持つことであると考えます。このような観点から，各事業において児童・生徒への指導をお願いしたいと思います。

### (4) 開かれた学校づくり

- ① 各学校がホームページを活用し，積極的に学校情報を発信しています。アクセス数が年間約380万件あることから，保護者や地域から大きな関心が寄せられていることがうかがえます。今後も保護者や地域の期待に応え，タイムリーで有益な情報発信ができるよう，教育委員会の支援をお願いしたいと思います。

### (5) 情報化社会に対応した教育の推進

- ① 校務システムの運用，各種文書の電子化，指導案のデータベース化など，情報化について印西市は最先端の環境と運用がされていると思います。今後も日常の授業実践においてタブレット端末や電子黒板等が日常的に活用されるよう，教職員の研修の充実をお願いしたいと思います。

## 《生涯学習分野》

どの項目についても30年度の実績についての的確な「施策評価」「評価理由」「今後の課題」が記されていると思います。

報告書に書かれている13項目の中で，施策評価「A」が12項目，「B」が1項目と優れた結果を出されています。

## Ⅱ 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

### 1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

#### (1) 生涯学習情報の充実

##### ① 生涯学習ガイドの発行

発行部数300は適当な数だと思います。今年度発行の「生涯学習ガイド」も幅広い情報を丁寧に作成されており，どの年代の人にとっても読みやすく利用しやすいと思われます。更に多くの市民が手にすることができるように，集会や会議等での啓発活動を試みることや，公的な施設への配布だけでなく，私的施設への配布等も検討してはいかがでしょうか。

市のHPへの掲載は良い取り組みと考えます。

#### (2) 多様な学習機会の提供

##### ① 市民アカデミーの充実

30年度の実績に書かれてあるように「1年生」「2年生」「地域活動過程」のどれもが充実した研修内容であると思います。終了後に同好のグループで集まったり県主

催の講座で研修を深めている人もいます。市職員から市政活動の実態と課題について学ぶ事は、市政を身近に感じ、市政に興味を持つためには必要な講座と思います。大学の教授から歴史や健康等について専門的な事を学ぶこと、地域で活躍する市民の話聞いて学ぶこと、また印西市を出て様々なことを学ぶことはアカデミー講座の魅力ある講座の一つです。今後も続けていくことを強く希望します。

市には市民活動団体が多く存在します。アカデミーとして交流を増やしていくことで更に楽しい学習も可能になるのではないのでしょうか。

「市民が望む講座」「応募方法」「卒業生の活躍の場の確保」等々、今後も考えていかなければならない事もあります。現状を良しとせず、更に挑戦して欲しいと思います。

## ② 公民館・地域交流館主催事業の充実

それぞれの館が工夫して事業を進めていることがわかります。参加人数は全体からみると増えています。市民に必要だと考えて企画し、実施した事業であっても集客が定員に満たないこともあるかと思えます。地域住民のニーズを得るためにアンケートを採ることや他市町の情報を得ること、斬新な企画等はすでに実施されていると思えますので、集客数を見ながら講座の変更や定員数を減らす等を考えても良いのではないのでしょうか。

今後も「行ってみたい公民館・地域交流館」「行ってよかった公民館・地域交流館」を心がけ、地域密着の場所となり続けることを望みます。

## ③ 図書館サービスの充実

延べ27万人以上の利用者がいることや87万の資料貸し出しを行っていることは図書資料の充実と職員の努力の結果と思えます。

レファレンスの受付が増えている事は、図書・視聴覚資料と図書館のソフト面の充実を物語っていると言えます。新刊本、DVD等について今後ますます増えてくる市民の要望にこたえられる図書館を期待します。

## ④ 生涯学習まちづくり出前講座の充実

講座数が90件に増えていることは市民から評価を受けているということです。

事業の目標を解決するためには大変に素晴らしい取組みと考えます。今後も、事業の認知度の高まりとともに利用が大きく伸びていくと考えられます。また、より専門的な知識を得たいと考える市民も増えてきます。異動のある職場なので研究・調査をして講座の講師として出向くことは大変なことと思えますが、継続と充実を願っています。

## (3) 生涯学習環境の整備・充実

### ① 生涯学習環境の整備・充実

計画的に改修がなされています。今後も安全面、使いやすさを考え継続的・計画的に公民館、地域交流館、図書館の改修を進めていかなければならないと考えます。館によっては、多くの事業が重なると駐車スペース確保が問題となり、近隣の私施設との連絡調整が必要になります。

館の計画的な改修については「改修」「廃止」「新築」「合併新築」「他施設への移転」等考えることも必要になってくるのではないのでしょうか。安全面については、早急に対応していかなければならないと思います。

成人を対象にした図書館探検隊等の事業は、図書館をより身近に感じるためにも良い取り組みと考えます。

#### (4) 高等教育機関等の連携協力

##### ① 産学官民の連携・協力

今後、更に専門的分野の知識を得たい、活動をしたいという市民の声が増えてくると思います。全てに対応することはできませんが、今後も大学や企業の協力を求めていかなければならないと思います。

貴重な事業ですので、今後も広く人材を求め充実した内容で持続していくことを望みます。順天堂大学公開講座に「パラスポーツ教室」を加えたことはユニバーサルマナーの面からも継続していきたい講座です。

##### ② 社会教育関係団体の支援

積極的に活動している社会教育団体への支援は今後も必要です。経済的支援と運営支援とを分けて考える事も大切です。地域活動の窓口になる仕組み作りの確立を期待します。

市民アカデミー地域活動修了者には、市内地域活動団体の情報を提供し、参加を促してはどうでしょうか。プログラムを市民活動へ導くために編成したとありますが、すぐに良い結果を求めるのではなく内容を検討しながら進めていくことが大切なことと思います。

## 2 地域で子どもたちを守り育てる環境作り

### (1) 青少年の健全育成活動の推進

#### ① 「こども110番の家」の推進

「こども110番の家」のステッカーは多く目にすることができます。設置する家が増えることで、その地域は犯罪防止に積極的であることは示すことができるので、引き続き設置の協力を求めていくことは必要と考えます。「挨拶を交わし合う地域は犯罪が少ない」と犯罪防止の専門家が言っていました。運営委員会時に一言触れていただければありがたいです。印西市の子どもの事故・事件が少ないのは、取り組みの効果の現れだと思えます。不測の事態に備え保険に加入することは必要な取り組みです。

#### ② 青少年健全育成大会の実施

企画運営には様々な機関からの要望もあり大変なことと思います。課題となっている「参加者の増加」「大会の啓発活動」については、引き続きの検討を望みます。事業の継続は「青少年の健全育成」のためには大切と考えます。今後も魅力ある大会となるようお願いします。発表は地域の人たちが楽しんで活動している団体の発表で

も良いのではないのでしょうか。

### ③ 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実

地域のコミュニティ作りの一つの方法としては有効な事業と考えます。実施中学校区の拡大を図り情報の共有とともに、「ねらい」「必要性」についても話し合いをもたれてはいかがでしょうか。

### ④ 放課後子ども教室の実施

今後も子どもたちが意欲的に参加できるような企画を考えて実施してください。

### ⑤ 成人記念式典の実施

成人者に自覚を持ってもらうためにも運営委員会方式はよい取り組みであると思います。式典の企画運営に関わる仕事が主ですが、今後は出演協力者との交渉等にも関わる事等、一歩進んでいくことも考えて欲しいと思います。(学業や仕事で忙しいとは思いますが)

当日の無事故、安心して出席できるように企画運営を考えて欲しいと思います。

内容については現状のまま実施することと、時代に合った内容を考え実施することで参加者の思い出に残る成人式になるものと思います。

### ⑥ 子ども読書活動の推進

図書館での読み聞かせに参加する人数の多さから、子どもの本への関心度の高さが窺えます。学校での読み聞かせにも同様のことが言えます。家庭教育学級での読み聞かせの指導は保護者への啓発活動としてとても良い取り組みと考えます。

図書館での読み聞かせは、子どもたちを本好きの子に育てることや、子どもたちが図書館を身近に感じるようになる良い企画と思います。

## (2) 家庭教育の推進

### ① 家庭教育学級の充実

時代を超えて重要な事業です。経験の中で、時には参加者が思うように集まらない時もありましたが、お互いの体験談を話し合う等「座談会形式」にした事で充実した時間を過ごした事もありました。学級生の横のつながりが深まり、数年に渡り続けている学級もあります。

多くの方が参加できるような日時を考えていくことも必要になってくると思われま

## III 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る

### 1 創造性を育む文化・芸術の推進・継承

#### (1) 文化・芸術に触れる機会の拡大

##### ①文化・芸術事業の充実

予定通りの事業を全て実施し、平均売上率が目標に達したことは取り組みの評価に

値すると思います。昨年の課題にもありましたが「事業内容により集客に差が見られる」ことは「幅広い分野の提供に努めている」ことの結果なのでやむを得ない部分もあります。

日本の様々な文化・芸術に触れる機会を市民に与える事が大きな目標です。引き続き事業広報の手段や方法について拡充・検討を行ってください。

## (2) 市民の自主的な活動の支援

### ①文化芸術活動の支援

会場を増やし、新しい内容を加えたことにより、参加者及び来場者が8,000人を超え過去最高であったことは素晴らしいことと思います。関係職員の皆様の努力に感謝いたします。文化活動への地道な支援があったからと思います。

### ②地域文化活動の支援

支援は必要な取り組みと考えます。木下街道膝栗毛リターンズの実施は良いと思います。

今ある文化活動の支援同様、過去の文化活動にも目を向けてみては如何でしょう。

## (3) 子どもをはじめとする次世代の育成

### ①子どもたちの文化芸術活動の充実

「子どもが参加しやすい事業の実施」とありますが、何人の子どもの参加者があったのでしょうか。より多くの子どもの参加を求めるのであれば、届きにくい子どもからの声を聞き、子ども目線で事業内容を考える必要があると思います。

### ②芸術文化活動を支える人材育成の推進

地域の文化・芸術を後生伝えていくには人材の育成が必要です。人材を広く求めていくことや人材をボランティアだけに頼らない方法を考えることも必要ではないでしょうか。

## 2 文化財の保護・活用

### (1) 「文化財の保護」

#### ①指定文化財保護事業

印西市には多くの文化財があります。開発が進む中で調査・保護していくことは大変な事ですが、今後も計画していく必要があります。市職員だけでは難しい事もありますので、市民の協力も必要になってきます。

文化財愛護思想の普及や防災意識の向上については児童生徒等への啓発も必要と思われます。

#### ②文化財基礎調査事業

#### ③埋蔵文化財の保護事業

道作古墳はよく整備されています。調査結果については多くの市民に伝わるよう考

えていただきたいと思います。

史跡等の整備管理については難しい面も多くあると思います。十分な取り組みを望んでいます。

## (2)「文化財の活用」

### ①文化財の活用事業

活用できる文化財は活用してこそ価値があると思います。

古墳や古文書、昔の地図等を歴史教育で使用できることや、様々な物を様々な場面で活用できることを紹介することも大切なことと考えます。

道作古墳の発掘成果の周知は今後も続けて欲しい事業です。

### ②印旛歴史民俗資料館運営事業

印旛歴史博物館にある昔の民具等を実際に使用することで、保護する事の大切さを学ぶのではないかと思います。

常設展示の見学者が減っていますが、見学者が見やすい、興味をもって体験出来るコーナー等の設置等でリピーターも増えるのではないのでしょうか。

### ③郷土資料の収集・保存・展示

分散化した歴史的資料の集約化は保存管理のためには必要なことです。継続的な取り組みを望みます。

### ④観光事業等の連携による文化財の活用

地域の文化財への理解の推進には「木下街道膝栗毛」や「道作古墳見学会」等が良い取り組みと考えます。

## 3 市史編さん事業の推進

### (1) 資料編さん事業の推進

#### ①資料編さん事業

「市史編さん事業」については施策評価が「B」となっていますが評価理由からやむを得ないと思います。事業内容や実績からみて地道に事業を推進していると思います。

### (2) 地域史料の保存と活用

#### ①地域史料の保存及び活用

#### ②歴史公文書の収集、整理保管

事業の全てが概ね計画通りに実施されていることは素晴らしいことと思います。

歴史公文書の保管総数が40,240点についても、大変な作業であると思いますが、引き続き整理保管を確実に行っていただくことを望みます。

## リーディング施策

生涯学習課推進係、文化係共に正しい方向性に向けて、しっかりと実施されていると思われま

す。市民アカデミーにニュースポーツの講座を設けること、子どもたちに大正琴の経験をさせること、市民文化祭において様々な体験する機会を設けることは生涯学習に進む良いきっかけとなります。今後も幅広いメニューの紹介を続けていくことを望みます。

## 《スポーツ振興分野》

スポーツ振興分野では、「Ⅱ 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する」という基本目標に対し、「3 市民が「参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実」を主な施策として、5項目の主な取り組みについて、わかりやすく施策評価・評価理由・今後の課題が記載されているように思います。

また、全ての項目におきまして、施策評価が「A」ということで、優れた結果が出されております。

## Ⅱ 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

### 3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実

#### (1) スポーツ参加機会の拡充

様々な教室や体育の日行事のスポーツフェスなどを開催し、市民がスポーツに親しむ機会を設けることで、体力の向上や健康増進を図る取り組みが窺えます。今後も、市民のニーズに応えた、魅力ある教室やイベントの開催を行って欲しいと思います。

また、30年度はクライミングリードジャパンカップ等全国規模の大会も開催されておりますが、トップレベルの選手の試合等を間近で観ることができる機会を提供することは、市民のスポーツへの興味関心を高めることにつながっていると感じます。今後も、スポーツを「観る」ことによる楽しさや感動を分かち合えるような大会の誘致を期待します。

#### (2) 特色あるスポーツ事業の展開

クライミングにつきましては、2020年の東京オリンピック競技種目にも選ばれており、世間の関心の高まりも感じます。クライミング教室や認定会の拡充により、更なる施設の利用促進、競技人口の増加を図って欲しいと思います。

#### (3) スポーツ・レクリエーション施設の充実

スポーツ・レクリエーション施設につきましては、各施設老朽化が見受けられます。市民の利用頻度も多いテニスコート等、計画的な施設の改修や整備を行って欲しいと思います。また、松山下公園におきましては、大会やイベントでの利用の需要が多く、大会重複による駐車場の不足が課題かと思えます。駐車場の整備につきましても、今後の検討課題としていただき、適切な対応を期待します。

#### (4) スポーツ指導者等の育成

市民のスポーツ活動を支える体育協会（現スポーツ協会）やスポーツ少年団，スポーツ推進委員等，各団体への支援をこれまで通り進めていただき，競技力や指導力の向上のために，市と各団体の更なる連携強化に努めていただきたいと思います。

#### (5) 総合型地域スポーツクラブへの支援

既存の総合型地域スポーツクラブにつきましては，活動の支援をこれまで通り継続していただき，学識経験者等の意見を取り入れながら，今後のあり方・支援策等の見直し，また地域の特性や実情を踏まえた新規設立に向けた検討も行っていただきたいと思います。

最後になりますが，スポーツは，単に健康増進や体力づくりを図るだけでなく，コミュニティ形成，青少年の健全育成等にも大きく関わっていくことから，「今後の課題」について，改善策を講じていただき，スポーツ振興に関わる事業のより一層の推進を期待します。